

◇あゆネット勉強会

『尾張旭を知ろう！』

講師 ふるさとガイド旭

寺尾 結子氏

7月29日（土）



ふるさとガイドとして活動している寺尾結子さんに、尾張旭市の歴史について話をさせていただきました。

尾張旭市の成り立ちについては弥生時代にさかのぼります。市内の遺跡から人々の生活の跡が確認されており、私達の先陣はこの地を耕し「むら」を作り、生活を良くするための努力を今日まで続けてきました。

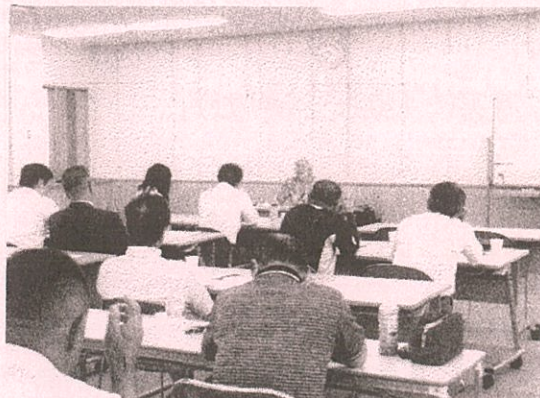
中世には、各所に豪族が住むようになり、中世末には、この地域最大の事件ともいえる「小牧・長久手の戦い」の舞台となり、近世に入ると開田が進められ、その時に作られた多くの池が市内各地に残っています。

その後、次第に本市域の原形となる六つの集落、印場村・新居村・稲葉村・狩宿村・瀬戸村・井田村が形成されていき、明治に入るとこの六つの村が合併して旭村が誕生しました。昭和23年には旭町となり、昭和45年12月1日に市制が施行され尾張旭市となりました。尾張旭市が誕生すると多くの人々が各地から転入され、市制施行当時の人口33,336人から現在は、83,182人となりました。私も他市から嫁いで来た一人です。

今回の講演で私が特に感銘を受けたのは、地域の様々な地名にはそれぞれの歴史や文化・伝統が深く関わっていることです。そしてその地域のいわれを聞いたことで地域への愛着が一層深くなりました。

講師の寺尾結子様は尾張旭市のことを一人でも多くの方に知っていただきたいとの思いでふるさとガイドとして活動してみえます。参加された皆様同様、愛する尾張旭市を誇りに思える良い機会となりました。

（丹羽 栄子）



☆あさひ健康フェスタ

4月29日(祝)に開催されたあさひ健康フェスタにおいて、男女共同参画に関するアンケートを実施しました。280名(男性91名、女性189名)の方に参加していただきました。(アンケートは男女別に答えていただき、シールの貼り忘れや、剥がれ落ちのため回答者数は一致していません。)

問1：自分の介護はどちらが希望？

施設？	男性 ⇒ 41名	女性 ⇒ 83名
自宅？	男性 ⇒ 48名	女性 ⇒ 106名

問2：職業によって女性向き、男性向きとして選びますか？

選ぶ？	男性 ⇒ 53名	女性 ⇒ 101名
選ばない？	男性 ⇒ 33名	女性 ⇒ 88名

問3：家事で得意なものはどれですか？

料理？	男性 ⇒ 24名	女性 ⇒ 99名
洗濯？	男性 ⇒ 23名	女性 ⇒ 58名
掃除？	男性 ⇒ 44名	女性 ⇒ 32名

「平成 29 年度 後期活動予定」

開催日時	内 容	会 場
11月11日(土)	あゆネット交流会	新池交流館ふらっと
1月	セミナー予定	未定
2月17日(土)	尾張旭市男女共同参画推進フォーラム	文化会館あさひのホール

「あゆネット」は、尾張旭市と協働で男女共同参画社会を推進しているボランティアグループです。

セミナーやワークショップなどを通して社会の役に立つことを学び、より良い社会をめざして着実に「歩む(あゆむ)」、あゆネットです。

★会員募集 年会費 1,000 円

[編集後記]

あゆネットのメンバーは、各々の仕事の他に、地域と人を育む会に参加しています。TV等で取り上げられることや、社会の細かなことにも目をむけて正しく判断できる力を、皆さんと共に学びながら身に付けていきたいと思っています。

編集・発行 尾張旭市男女共同参画社会推進ボランティア「あゆネット」

編集協力 尾張旭市市民生活部市民活動課 TEL(0561)76-8125 siminkatudo@city.owariasahi.lg.jp

尾張旭市市民活動支援センター TEL(0561)51-2878 katudoushien@city.owariasahi.lg.jp